

新連載

フランスの魅惑

-L'allure de la France-



Vol. 1

『ショパンの墓』



今月号からコラム連載をさせていただきます、パリ在住のピアニスト安田英主です。
今年始め、パリで痛ましい事件が発生しました。犠牲者の皆様のご冥福をお祈りすると共に、読者の皆様へ少しでもパリの魅力が伝わるよう努めますので、宜しくお願い致します。

突然ですが、1810年3月1日は何の日でしょう？
パリを中心にフランスで半生を過ごした、F・ショパンの誕生日です。(異説あり)
連載開始と彼の誕生日が3月繋がりという事で内容は強引にショパンとなり・・・。
私は愛し過ぎて重度のショパネ病 <Le syndrome Chopanais> です。
※ショパネ病とは、ショパン中毒の総称であり、日本語と仏語両方とも勝手に創作した造語です(笑)

今回で紹介したいのは、パリ20区パール・ラシェーズ墓地内のショパンの墓です。
写真をご覧ください。これがお墓ですよ！ うーん、実に芸術的!!!
日本の墓地とは随分趣が違いますか？

ここにはショパンの遺体があるのですが、唯一無いものがあります。
それは“心臓”です。
ポーランドで生まれ育ち、自国力・他国政の影響で愛する祖国を離れ二度とその土を踏む事なくパリに没したショパン。
彼の遺言により、心臓はワルシャワの聖十字架教会に移されたので、ショパンの“心”だけは祖国に帰還できたのでした。



ショパンの墓



ひでかず 安田 英主プロフィール

第6回クライネフ国際ピアノコンクール、グランプリ及びクラシック作品最優秀演奏賞受賞。18歳でパリ国立高等音楽院ピアノ科首席合格(ジャック・ルヴィエ氏師事)その後、国家資格のディプロマを得て修了。

2014年7月より、4枚目となるCD「Hidekazu Yasuda Piano Recital in 2013 LIVE」を好評発売中。辛口でハード・ボイルドな独特の感性を十二分に発揮させたライブ・レコーディング盤である。



さくらプラザでの公演履歴

2013年9月1日(日)
さくらプラザ開館記念式典 ～4名のピアニストによる開館記念演奏～
2013年9月30日(月)
ランチコンサートVol.1 ～あの「展覧会の絵」を全曲版でより深く味わう～
2014年6月30日(月)
ランチコンサートVol.7 ～気ままにフランス～



2015年8月20日(木)
ランチコンサートVol.15 ～舞曲に寄せる語り尽くせない想い～

*詳細は裏表紙をご覧ください